

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和 4年 8月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 中元組
所在地	新潟県長岡市寺泊松沢町9353番地14
代表者役職・氏名	代表取締役社長 中元 将人
担当者連絡先	電話：0258-75-3151
	メール：kenichi-takahashi@nakamotogumi.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.nakamotogumi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は明治5年(1872年)創業、昭和28年(1953年)株式会社設立、以来地域に根差し、港湾事業、土木事業、建築事業の3分野を展開する総合建設業として社会のインフラ整備に携わり、今年(2022年)で150周年を迎えました(来年で株式会社設立70周年)。</p> <p>弊社の特徴は、新潟県下最大規模の工事用船舶を中心に、3つの起重機船団を自社で保有していることです。そしてその業務内容は、防波堤や防砂堤の築造、老朽化する岸壁の改修、航路の安全性を確保するため海底の土砂を掬い取る浚渫、海岸の浸食を防ぐ消波ブロックの設置など、港湾の中で関係する様々な工事を行っており、この分野は当社の根幹となっています。</p> <p>弊社は、『建設を通じて社会の繁栄に貢献する』という経営理念のもと、海上交通と海岸に接する地域の安全を守るべく、鋭意業務を行っております。</p>
---

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・地域、社会貢献に繋がる活動強化のため、地元の海岸清掃のほかに、県内別の地域の海岸清掃も含め積極的に取り組む。	・海岸清掃活動回数 【現状】年1回 【目標】年3回
□環境 ✓社会 □経済	・良き人材の確保、育成に向け、奨励金の支給を含む資格取得の支援制度を整備し、技術力向上と若手の現場技術員の増加を図る。	・取得強化資格保有者数(1級管工事、1級舗装、解体工事、Jコールド診断) 【現状】12名 【目標】15名 ・現場技術員に占める30歳未満人数の割合 【現状】18.5% 【目標】20.0%
□環境 ✓社会 ✓経済	・働き方改革の一環として、年間の週休2日制適用工事数の増加に引き続き取り組む。	・年間の週休2日制適用工事数 (→対象金額25百万円以上) 【現状】年7件 【目標】年20件

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・「 <u>「ハッピー・パートナー企業」</u> に登録済み(新潟県)であり、男女共に働きやすい職場環境づくりや女性社員の育成等にも積極的に取り組んでいる。 ・男女問わず、希望に応じて施工管理を体験できるインターンシップを開催している。				4.3 4.4 4.7	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8							16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・各種ハラスメントを禁止する旨就業規則(服務規律、制裁解雇等)に明記している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・働き方改革プロジェクトを立ち上げ、残業減や週休2日制の実現に取り組んでいる。また、週休2日制適用工事数の増加にも引き続き取り組む所存である。									8.5 8.8								
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3					
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・労働安全衛生法に従い、毎月の安全パトロールを徹底しており、労働災害・公衆災害の発生0を目指し、より良い作業環境にできるよう取り組んでいる。 ・作業現場における衛生的な快適トイレの設置に取り組んでいる。				3			6		8.5 8.8								
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・従業員を対象に定期的にストレスチェックを行い、医療機関と連携したフォローも行っている。				3													
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性の積極採用に向けたトイレや更衣室などのハード面の準備、産休や育休、時短勤務、介護休暇への対応にも取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5			10.2 10.3					
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得のための研修や受験等に係る資金的支援の他、奨励金も支給、社内の技術力向上と若手の現場技術員の増加・育成に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.7	5.5				8	9							
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5			10.2 10.3					
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・「 <u>「にいがた健康経営推進企業」</u> に登録済み(新潟県)であり、従業員の定期健康診断の受診状況を管理し、会社全体の健康増進に取り組んでいる。				3					8								
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・社内全体で、廃棄物の削減や分別・リサイクルの推進に取り組んでいると同時に、現場においても、使用する資材の再利用や廃棄物の削減に努めている。											11.6	12.4 12.5		14.1			
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている									7.3					13				
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・社有車のハイブリッド車への随時切り替えや電気機器や空調、照明などの節電、LED化にも取り組んでいる。									7.2 7.3			12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・化学物質を取り扱う作業については、法令に従ってリスクアセスメントを実施している。			3.9			6.3				11.6	12.4				16		
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・防災、減災対策やリサイクル、省エネ推進、清掃活動等地域貢献など、環境への配慮に関する取り組みを弊社HPにて公開している。						7				11	12.6	13	14	15			
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・安全衛生委員会を毎月実施しているほか、毎年安全大会を開催し、協力企業も含めた現場管理での表彰を実施している。			3.9						8.5 8.8		12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・お客様満足度達成のため、ISO9001(品質マネジメントシステム)の継続的改善に取り組んでいる。 ・ICT技術を積極的に取り込むことにより、一層の生産性向上を目指している。									8	9							
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・防波堤や防砂堤の築造、航路の安全性を確保するための浚渫、海岸の浸食を防ぐ消波ブロックの設置など、港湾における様々な工事で貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4						9	11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各地域と連携して海岸清掃を行ったり、地元のボランティア活動に参加、さらに地域の花火等イベント時には協賛も行っている。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している										8	9	11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	・当社HPに公開しているほか、新潟県SDGs推進建設企業登録制度(審査完了済)に係る「SDGs達成に向けた宣言書」の内容についても社内でも共有済みである。									8	9						17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・お客様の要求事項を満足させるため、契約内容を把握し、関連する法令、規則の厳守の徹底に取り組んでいる(コンプライアンスの徹底)。															16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・毎月、安全衛生委員会や土木部会を開催し、各種リスクへの対応状況のチェックや適切な対策を共有している。									8						16		
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定(2024年まで)、定期的な訓練の実施										9		11		13.1		16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・後継者候補はおり、検討・対策は行っている。									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【地域への貢献、社会課題解決】(港湾関係以外)	・防災、減災対策工事や除雪作業の他、自治体との防災協定を通じた災害時における緊急対応など、地域の安全・安心に貢献している。													13				
	・圃場整備による農産物の生産性の向上に貢献。		2															
	・道路や橋梁、トンネルなどの交通インフラ、下水道や用水等の生活や産業を支える構造物の建設、長寿命化や耐震化のための改修等で貢献している。												11					
	・自治体からの委託により、定期的に道路、河川等の点検を行い、安全確保に努めている。												11					

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。



## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：新潟県長岡市寺泊松沢町9353番地14

名称：株式会社 中元組

代表者：代表取締役社長 中元 将人

登録年月日：令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	■地域、社会貢献に繋がる活動強化のため、地元の海岸清掃のほかに、県内別の地域の海岸清掃も含め積極的に取り組む。	■海岸清掃活動回数  【現状】年1回 【目標】年3回	■令和4年10月期実績 海岸清掃活動 3回実施 (目標比 0)  ■令和5年10月期実績 海岸清掃活動 3回実施 (目標比 0)
□環境 ✓社会 □経済	■良き人材の確保、育成に向け、奨励金の支給を含む資格取得の支援制度を整備し、技術力向上と若手の現場技術員の増加を図る。	■取得強化資格保有者数合計 (①1級管工事、②1級舗装、 ③解体工事、④コンクリート診断計) 【現状】12名【目標】15名  ■現場技術員中の30歳未満の割合 【現状】18.5%【目標】20.0%	【取得強化資格保有者数合計(上段)】 【現場技術員中の30歳未満の割合(下段)】  ■令和4年10月期実績 計12名(目標比△3名) 18.5%(目標比△1.5%)  ■令和5年10月期実績 計11名(目標比△4名) 20.0%(目標比 0)
□環境 ✓社会 ✓経済	■働き方改革の一環として、年間の週休2日制適用工事数の増加に引き続き取り組む。	■年間の週休2日制適用工事数 (→対象金額25百万円以上)  【現状】年7件 【目標】年20件	■令和4年10月期実績 完成工事分 19件 (目標比 △1件)  ■令和5年10月期実績 (決算前につき9月時点) 未成工事含め 28件

## SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 新潟県長岡市寺泊松沢町 9353 番地 14

名称： 株式会社 中元組

代表者： 代表取締役社長 川上 邦明

登録年月日： 令和 4年 9月 21日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	■ 地域、社会貢献に繋がる活動強化のため、地元の海岸清掃のほかに、県内別の地域の海岸清掃も含め積極的に取り組む。	■ 海岸清掃活動回数  【現 状】 年 1 回 【目 標】 年 3 回	■ 令和 5 年 10 月期実績 海岸清掃活動 3 回実施 (目標比 0) ■ 令和 6 年 10 月期見込 海岸清掃活動 3 回実施 (目標比 0)
□環境 ✓社会 □経済	■ 良き人材の確保、育成に向け、奨励金の支給を含む資格取得の支援制度を整備し、技術力向上と若手の現場技術員の増加を図る。	■ 取得強化資格保有者数合計 (①1 級管工事、②1 級舗装、 ③解体工事、④コンクリート診断 計) 【現 状】 12 名【目 標】 15 名  ■ 現場技術員中の 30 歳未満の割合 【現 状】 18.5%【目 標】20.0%	【取得強化資格保有者数合計(上段)】 【現場技術員中の 30 歳未満の割合(下段)】 ■ 令和 5 年 10 月期実績 計 11 名(目標比△4 名) 20.0% (目標比 0.0%) ■ 令和 6 年 10 月期見込 計 11 名(目標比△4 名) 19.6% (目標比 △0.4%)
□環境 ✓社会 ✓経済	■ 働き方改革の一環として、年間の週休 2 日制適用工事数の増加に引き続き取り組む。	■ 年間の週休 2 日制 適用工事数 (→対象金額 25 百万円以上)  【現 状】 年 7 件 【目 標】 年 20 件	■ 令和 5 年 10 月期実績 完成工事分 18 件 (目標比△2 件) ■ 令和 6 年 10 月期見込 (決算前につき 9 月時点) 未成工事含め 43 件